

# ワケ カタチには理由がある(36)

Shape follows Function  
& Taste

## ～チャンスポート V-173



(ノースロップ N-9M と↓)



本機は、チャールズ・ジーマーマン(Charles H. Zimmerman)が提唱し、米国特許(US2,108,093)を取得した論理に基づき、チャンスポート社が製作した実証実験機です。1942年に初飛行に成功し、低速でも失速せずに飛行することは証明されましたが、自らのプロペラ後流で浮き上がるという、特許が狙った作用効果については疑問が残りました。機首下面に格子状の大きな窓を有しますが、これは当初、パイロットが寝そべて操縦する伏臥式コクピット(prone cockpit)仕様で計画された名残りと思われます。まるで団扇のようで、通常の機体に比べて被弾面積が大きく、戦闘機に向いているかは大いに疑問ですが、米国海軍はその STOL 性能に着目して実用化を目指し、チャンスポート社は XF5U の製作に進むこととなります。ノースロップ N-9M と並べた写真を上げますが、この全翼機も海軍がテストしていましたから、XF5U とともにシーブルーに塗られたツーショットが空母上に見られる可能性もありました。

### 【模型について】

チェコの Sword 製 1/72 の簡易インジェクションキットです。背中の左右に丸い星が付く初期塗装にしたかったため、スパッツ付きのタイヤを改造してスパッツ無しの支柱に作り替えています。

(中川裕幸 2021年7月, 改定 2024年6月)